

**令和6年度 保健福祉学部保健福祉学科社会人特別選抜「小論文」  
出題の意図と解答例**

**1 出題の意図**

保健福祉学部は、地域が抱える保健・医療・福祉分野の諸問題に関心を持ち、主体的にその解決のための行動を起こすことによって持続可能な地域の発展に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目標としている。そのため、課題文についての設問に対する解答を評価することで、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力等の基礎学力や、創造性、多様性を尊重する視野、地域社会への貢献に対する関心などを総合的に評価することを意図した。

**2 解答例と採点のポイント**

【問1】下線部(1)の「リスク」はどのように表されると筆者は考えているか、50字以内で述べなさい。

解答例

不確実な事柄を、発生の確からしさと結果として発生する被害の大きさ、という2つの要素で表現される。

(48字)

採点のポイント

- リスクは2つの要素(発生する確からしさと被害の大きさ)で表現されるという内容の記述があること。

【問2】下線部(2)「人類が獲得した科学技術の力」によって、自然災害による被害に対する考えはどのように変化したか、120字以内で述べなさい。

解答例 省略

採点のポイント

- 以前の考えについて(例、受け入れざるを得ない、運命として受け入れていた、など)の記述があること。
- 現在の考えについて(例、意思決定によって大きく左右されるもの、人間の意思決定の帰結としてもたらされるもの、適切な意思決定により回避・軽減することができるもの、など)の記述があること。

【問3】下線部(3)「科学技術をめぐり社会のなかで生じる問題」をどのように解決したらよいか、課題文の内容を踏まえて、具体例を挙げてあなたの考えを500字以内で述べなさい。

解答例 省略

採点のポイント

- 科学技術をめぐり社会の中で生じる問題について、具体例を適切に挙げて述べている。
- 課題文の内容を踏まえたうえで、解決に参加する対象や解決のプロセスについて記述し、自分の考えを述べている。
- 記述が論理的でまとまりのある文章であり、誤字・脱字がないか。